

平成30年度学校評価アンケート結果

学校評価に係るアンケートを実施しましたが、集計結果についてお知らせします。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございます。

1 調査期日 平成30年11月19日

2 対象[回答率] 本校保護者（最長兄姉）462名[86.0%]及び生徒520名[87.4%]

3 回答結果 以下のとおり

回答は、「4…よくあてはまる 3…おおむねあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…まったくあてはまらない」の中からの選択式。アンケート結果を集計・分析するために、4～1の回答選択肢に対し、それぞれに4点～1点の数値を割り当てて点数化し、各質問項目別で平均をとることにしました。これにより、最高点を4点満点として表されたこととなります。

【保護者】

質問事項

- ア 自分の子どもは、学校生活を楽しんでいる。
- イ 自分の子どもを大和中学校に入学させて良かった。
- ウ 学校の行動目標が「明るく、元気で、努力する学校」であることを知っている。
- エ 学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。
- オ 学校は、家庭や地域の人たちが気がねなく出入りできる、親しみやすい学校である。
- カ 学校は、わかりやすい授業に努めている。
- キ 生徒は、意欲的に授業に取り組んでいる。
- ク 自分の子どもの学力は向上している。
- ケ 学校は、自分の子どもを公平に正しく評価している。
- コ 学校の教室や施設・設備は、生徒が学習しやすいように整備されている。
- サ 生徒は、あいさつがよくできている。
- シ 学校は、いじめなどのない楽しい学校をつくろうとしている。
- ス 学校は、社会のルールや学校のきまりについて厳しく指導している。
- セ 学校は、自分の子どもの相談事や悩みなどについて適切に応じている。
- ソ 先生たちは、自分の子どものことをよく理解してくれている。
- タ 大和中の生徒は、交通ルールをきちんと守って通行している。
- チ 自分の子どもは、毎日、きちんと朝食をとっている。
- ツ 生徒会活動や委員会活動は、充実している。
- テ 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、自分の子どもにとって楽しく充実している。
- ト 部活動は、自分の子どもにとって充実した活動になっている。
- ナ 学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。
- ニ 学校は、命を大切にする心や思いやりの心を育てようとしている。
- ヌ 自分の子どもは、ふるさと大和や佐賀県の自然や歴史、産業などについて理解している。
- ネ 学校は、小学校との交流を積極的に取り組んでいる。自分の子どもは、学校生活を楽しんでいる。

保護者対象の集計結果は、ア～ネの質問項目の中で、最も平均点が高かったのは、昨年度と同じく、

「チ 自分の子どもは、毎日、きちんと朝食をとっている」の3.5点（昨年度は3.6点）でした。基本的な生活習慣に関わりますので、引き続き4点満点を目指したいところです。他にも

「ア 自分の子どもは、学校生活を楽しんでいる」

「イ 自分の子どもを大和中学校に入学させて良かった」

「テ 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、自分の子どもにとって楽しく充実している」で、どれも3.4点の高い評価結果でした。一方で、最も低い平均点だったのは、

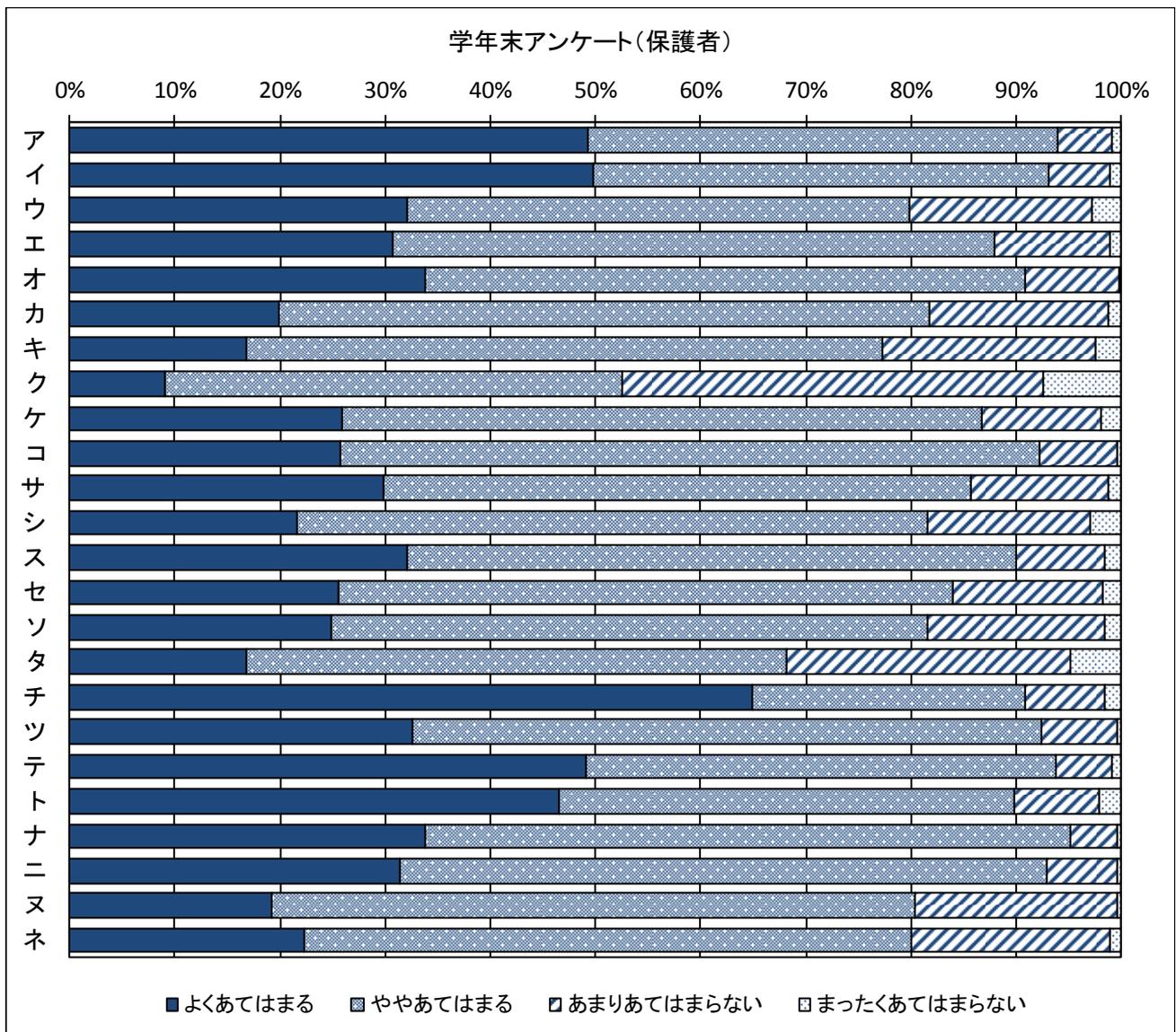
「ク 自分の子どもの学力は向上している」

の2.5点（昨年度は2.6点）でした。

「タ 大和中の生徒は、交通ルールをきちんと守って通行している」

「キ 生徒は、意欲的に授業に取り組んでいる」

についてもそれぞれ2.8点、2.9点という低い結果でした。すべての質問項目についての全学年保護者分の集計結果は、次のようなグラフになりました。全体の概要になります。



体育大会や文化発表会など学校行事については、確かに活躍するそれぞれの場ですばらしいパフォーマンスを発揮しています。参観された多くの保護者からもそのたびに好評いただきました。クの結果からもその積極的な取り組みが学習面に表れておらず、生かされていません。実は、学習時間について、家庭学習が十分ではないことは、4月の意識調査の結果からも明らかで、全国平均や県平均を下回っていました。学力向上は学校での授業だけでは改善が難しく、家庭学習の充実も

要因の一つだと考えます。さらに、今年度は各教科の提出物が期限までにできないという課題も明らかになりました。家庭のご理解・ご協力が必要です。

学力向上について、現在、教育界は改革期にあります。新聞やテレビのニュースでも報道されています。2020年度（2021年1月）から導入される「大学入学共通テスト」に切り替わり、大学入試が今の高校1年生から大きく変わることも一つです。これは高校だけの問題ではなく、その中で義務教育に求められるものを適切に捉え、小・中学校ではそれに添った教育活動を展開していきます。高校入試も自然と出題傾向が変わってくるでしょう。そのためにも家庭学習の習慣が大事です。

夕の交通ルール（自転車通学のマナー）については、地域の方からも度々連絡をいただくことがありました。学校では、9月13日にスタントマンによる交通安全教室を開催したり、折に触れ、説諭を繰り返したり、注意喚起を含めて指導しています。PTAの委員会の中でも交通安全委員会を新設し、活動いただいたところです。生徒会でも専門委員会で取り組んでいこうとしています。合わせて、朝の登校時間について、遅刻をしないことは当然ですが、もう一歩進んで、時間的に余裕をもって登校できるような心がけが求められます。

次に、同じように生徒対象の集計結果です。

【生徒】

質問事項

- ア 学校生活は楽しい。
- イ 大和中学校に入学して良かったと思う。
- ウ 学校の行動目標が「明るく、元気で、努力する学校」であることを知っている。
- エ 学校からの配布物や「たより」などを確実に保護者に見せている。
- オ 大和中学校には、家庭や地域から多くの人が出入りしている。
- カ 学校は、わかりやすい授業に努めている。
- キ 授業中、しっかりと先生の話の聞き、やる気をもって学習に取り組んでいる。
- ク 自分の学力は向上している。
- ケ 学校は、自分を公平に正しく評価している。
- コ 学校の教室や施設・設備は、学習しやすいように整備されている。
- サ 自分は、チャイム着席を守り、授業を受ける準備ができている。
- シ 自分は、あいさつがよくできている。
- ス 学校は、いじめなどのない楽しい学校をつくろうとしている。
- セ 学校は、社会のルールや学校の決まりについて厳しく指導している。
- ソ 先生たちは、自分の相談事や悩みなどについてきちんと応じてくれる。
- タ 先生たちは、自分のことをよく理解してくれている。
- チ 自分は、交通ルールをきちんと守って通行している。
- ツ 自分は、毎日、きちんと朝食をとっている。
- テ 生徒会や委員会は、充実した活動をおこなっている。
- ト 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、楽しく充実している。
- ナ 部活動は、自分にとって充実した活動になっている。
- ニ 学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。
- ヌ 学校は、命を大切にする心や思いやりの心を育てようとしている。
- ネ 自分は、ふるさと大和や佐賀県の自然や歴史、産業などについて理解している。
- ノ 学校は、小学校との交流を積極的に取り組んでいる。

回答は、保護者と同じく、4～1の中から選択式でした。点数化した結果、高い評価だったのは、

「ト 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、楽しく充実している」

「ツ 自分は、毎日、きちんと朝食をとっている」

「セ 学校は、社会のルールや学校の決まりについて厳しく指導している」

で、平均点は3つとも3.6点でした。ト 学校行事とツ 朝食摂取については、保護者の回答と同様な傾向があり、生徒自身も実感しているといえます。セ 社会のルールや学校の決まりについての指導では、どの学年も3.6点で、学年に偏りなく全体的に高い評価でした。保護者の平均点は生徒よりやや低く、3.1点でした。一方で、平均点が低い評価は、

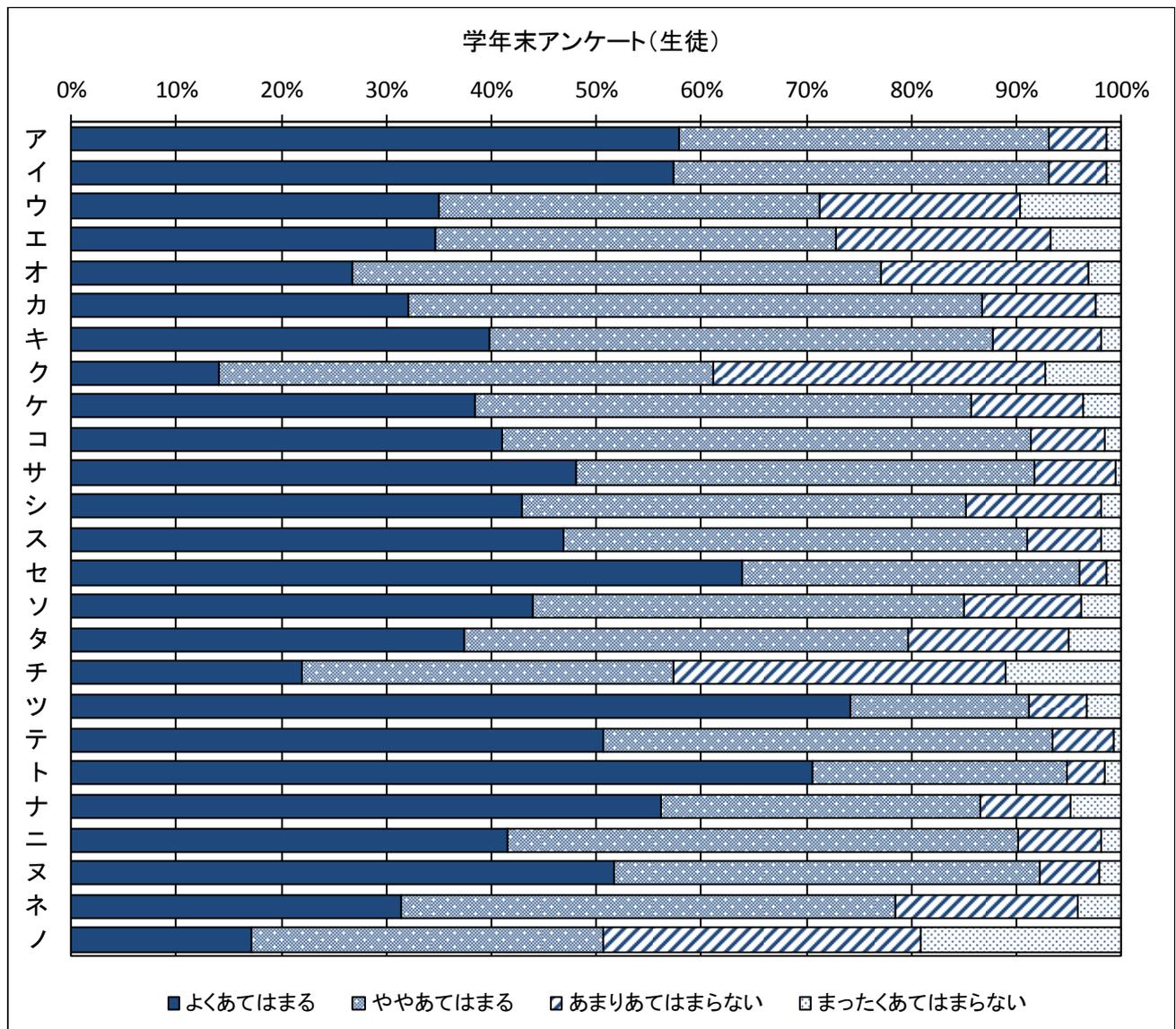
「ノ 学校は、小学校との交流を積極的に取り組んでいる」

「ク 自分の学力は向上している」

「チ 自分は、交通ルールをきちんと守って通行している」

でした。この3項目の平均点はそれぞれ2.5点、2.7点、2.7点。ノの小学校との交流については、1年2.6点、2年2.4点、3年2.4点でした。「ようこそ先輩」のように計画的に仕組む必要があります。小学校とも連携し、地区で開催されている行事に積極的な参加を期待したいところです。

すべての質問項目で、全校生徒の集計結果は次のようなグラフになりました。全体概要です。



特徴的なこととして、次のような傾向がありました。

「ア 学校生活は楽しい」について、各学年の平均は、1年3.4点、2年3.5点、3年3.5点でどの学年も高い評価結果でした。経年で比較すると、現2年生は1年時より平均点が0.1ポイント減

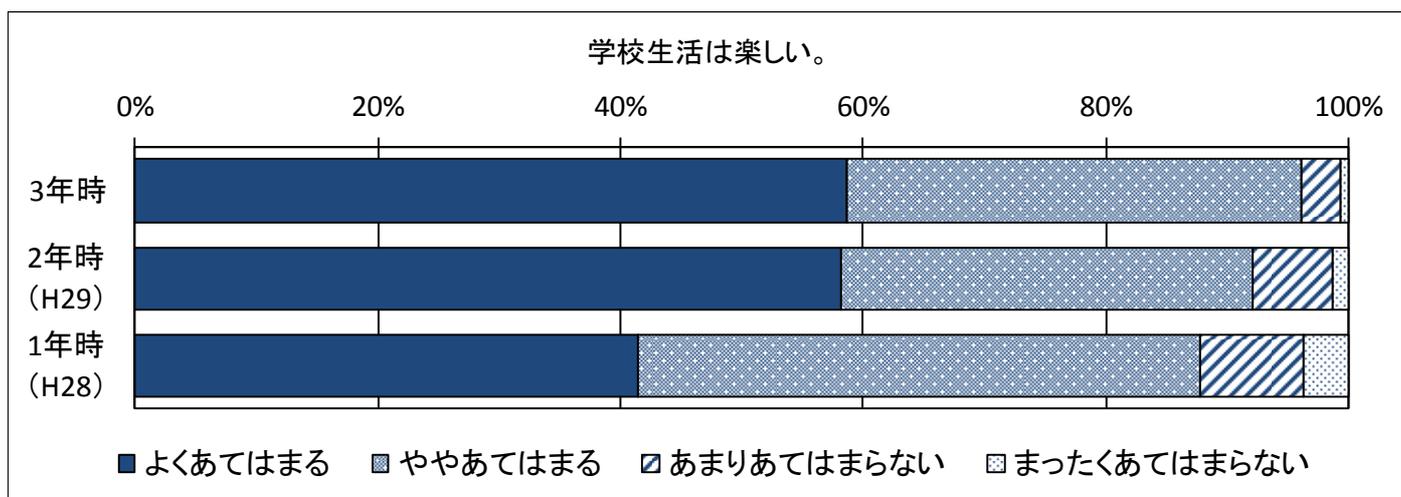
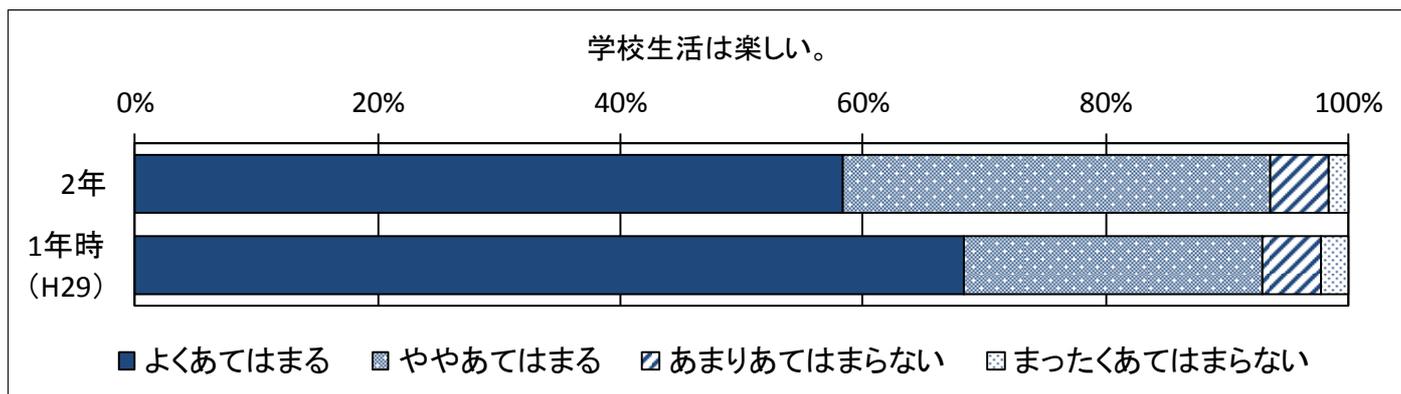
少し、現3年生は、1年時の3.3点から3.5点に増加しています。ただ、6.9%の生徒が「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答しており、見逃すことなく手立てが必要といえます。

「ト 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、楽しく充実している」についても同じ傾向が見られ、より主体的に取り組もうとする姿が表れています。各学年の平均は、1年3.6点、2年3.6点、3年3.7点でどの学年も高い評価結果でした。

アとトの両質問項目について、1年前や2年前と経年比較をし、生徒の変容をみてみました。グラフで表すと、次のように若干違いがありました。

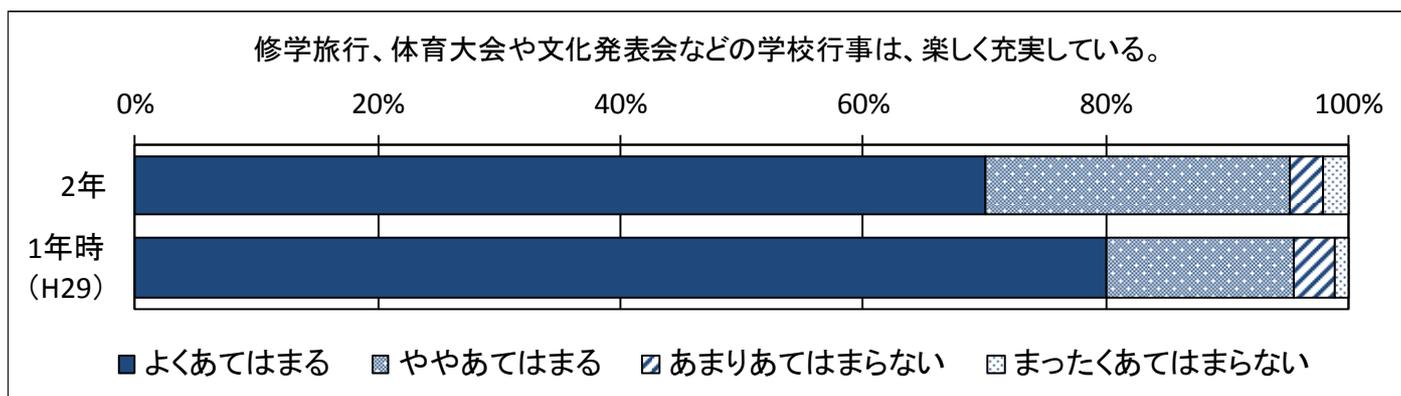
ア 学校生活は楽しい

…現2年生3.5点【1年時3.6点】、現3年生3.5点【1年時3.3点、2年時3.5点】

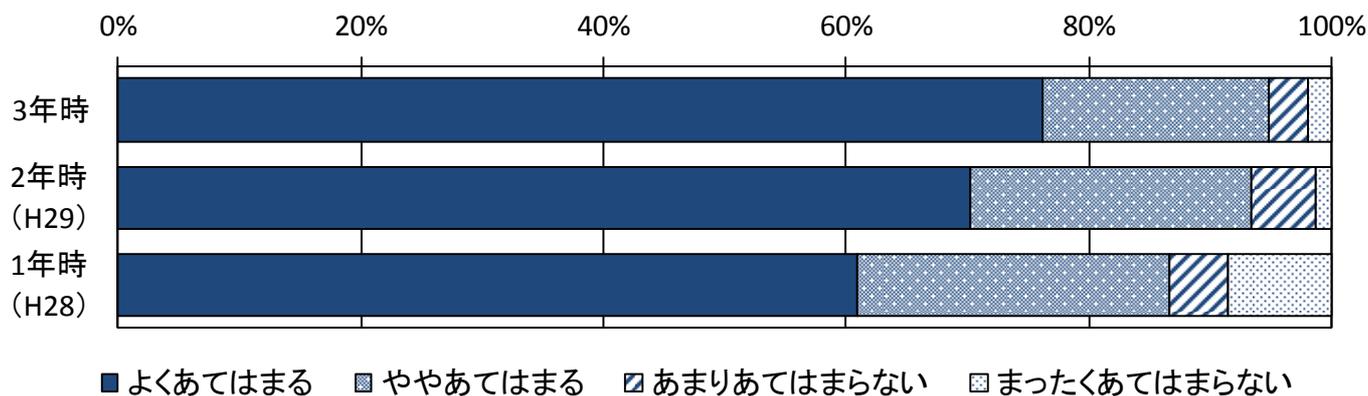


ト 修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、楽しく充実している

…現2年生3.6点【1年時3.7点】、現3年生3.7点【1年時3.4点、2年時3.6点】

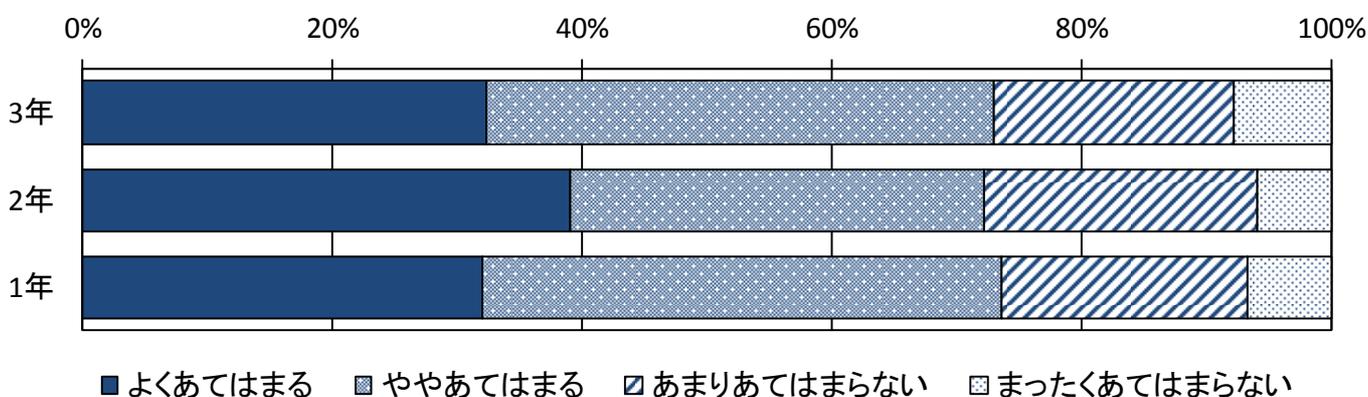


修学旅行、体育大会や文化発表会などの学校行事は、楽しく充実している。



もう一つ、特徴的なものとして、「エ 学校からの配布物や『たより』などを確実に保護者に見せている」についてです。

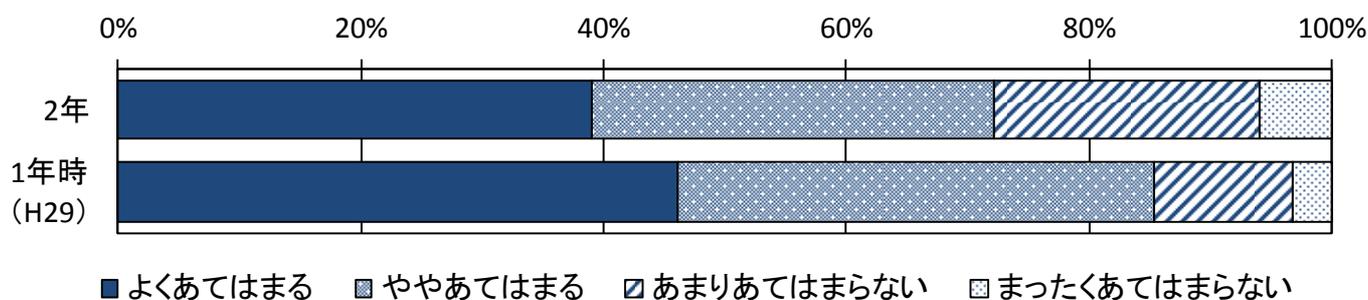
学校からの配布物や「たより」などを確実に保護者に見せている。



平均 3.0 点（1 年 3.0 点、2 年 3.1 点、3 年 3.0 点）で、グラフからもどの学年も 7 割以上の生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答していることが分かりますが、昨年度よりやや下がっています。また、全校で 35 名の生徒が「まったくあてはまらない」と回答していました。

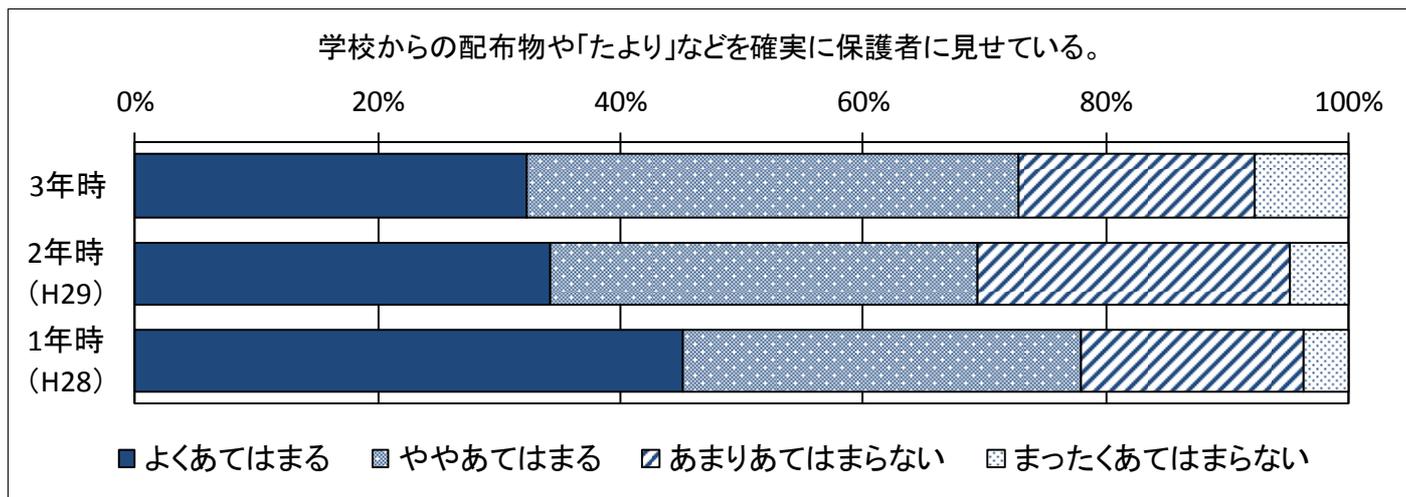
2 年生と 3 年生について、同質問項目で経年比較をしたグラフが次です。2 年生は 1 年時より平均点が 0.1 ポイント下がり、改善が求められます。3 年生も 2 年時は 0.2 ポイント下がりましたが、3 年時は増減はありませんでした。

学校からの配布物や「たより」などを確実に保護者に見せている。



学校での出来事などを話題とした家族の団欒の時間と学力については、相関関係があるといわれています。学校だよりは毎月 2 回発行をしており、学校 Web の更新も「日々更新」「即日更新」を目指し、学校行事を中心にアップしています。その他、学年だよりや学級だよりなども定期的に発

行されています。年に2回あるフリー参観デーだけではなく、いろいろな学校行事にもぜひ都合をつけて来校いただき、話題の一つにしてもらえれば幸いです。

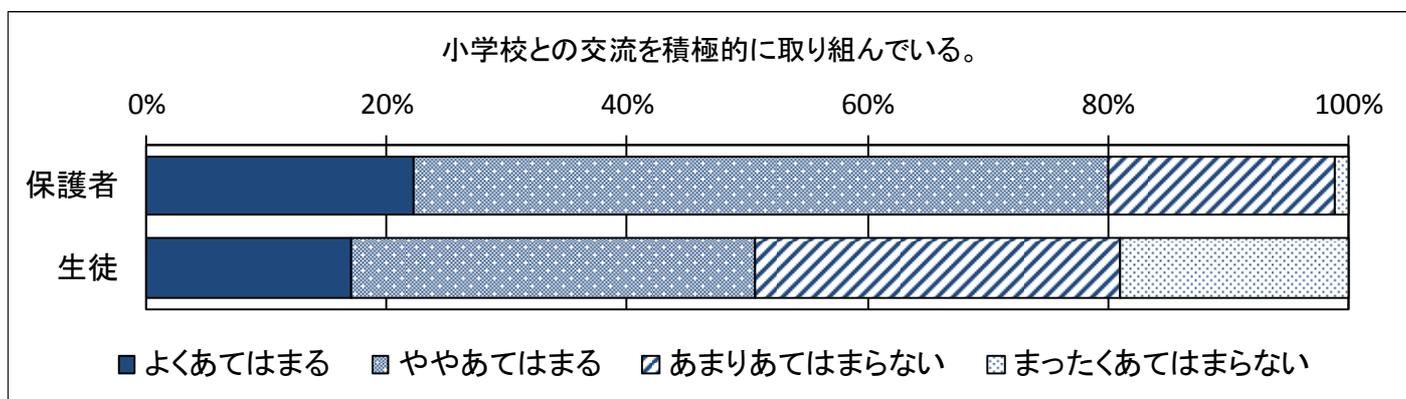


次に、保護者と生徒の両方に共通する質問項目で、特徴的な回答をクロス集計的に比較してみました。ほとんど大きな差はみられませんが、次のような傾向が見られました。【保】は保護者への質問、【生】は生徒への質問を表し、〈 〉の数はその平均点を示しています。

(1) 学校は、小学校との交流を積極的に取り組んでいる。

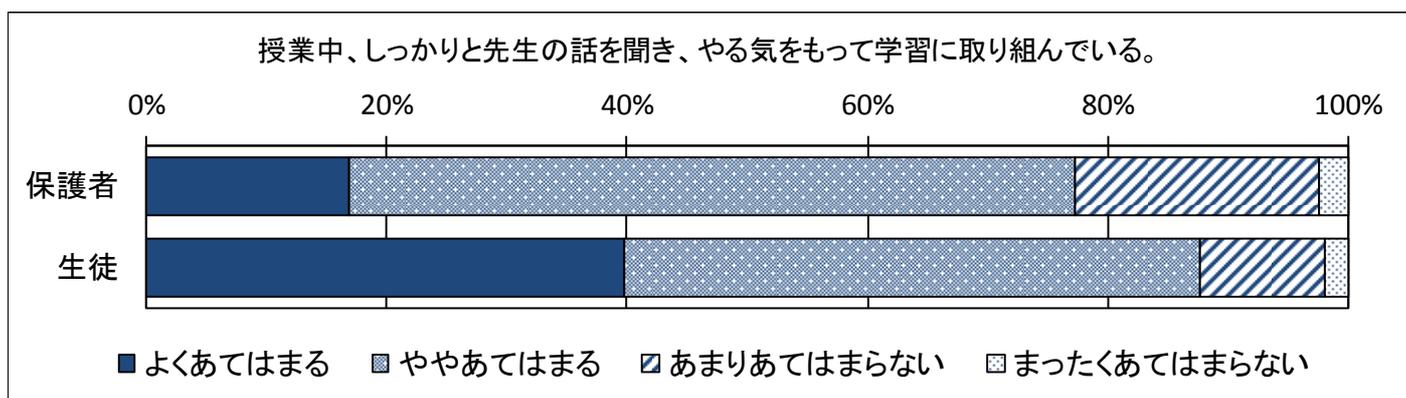
【保(ネ)】〈3.0〉 【生(ノ)】〈2.5〉

保護者と生徒の意識の違いが最も大きくなりました。前にもあったように、行事やイベントを仕組むだけでなく、小中連携の意味からもボランティアによる地域行事への積極的な参加を働きかけていきます。



(2) 授業中、しっかりと先生の話聞き、やる気をもって学習に取り組んでいる。

【保(キ)】〈2.9〉 【生(キ)】〈3.3〉



学習への取り組む授業の姿勢ですが、生徒の方は高く意識をしているようです。保護者の評

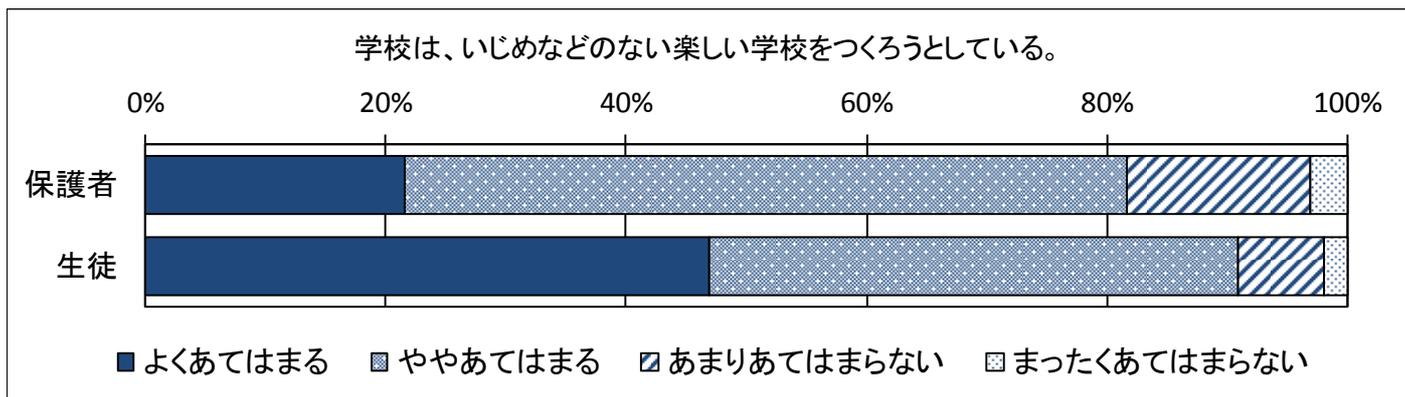
価が低いのは、成績が伸び悩み、それが授業の取り組み方に課題があると判断した結果でしょうか。家庭学習や提出物のご協力もお願いします。

(3) 学校は、いじめなどのない楽しい学校をつくろうとしている。

保(シ) <3.0> **生(ス)** <3.4>

これも生徒の評価が高く、保護者の評価が低い結果となりました。いじめについては、毎月初めに「いじめ・いのちを考える日」を定め、全校集会で、生徒会本部が中心となって宣言を群読したり、呼びかけたりしています。また、人権週間に合わせて、人権作文を放送で流し、それについて静かに考えたり、感想を書いたりしました。人権集会も計画的に開催しました。また、夏休み中の平和集会（8月6日）、全校朝会では動画「The Power of Words」（10月23日）、人権ふれあい講演会ではシンガーソングライターmonさんの「うまれてきてくれてありがとう」（12月19日）などを通して命の尊さや人権について触れました。引き続き、全校の生徒理解についてキャッチアップに努め、全職員で全生徒を見守るという姿勢を継続していきます。

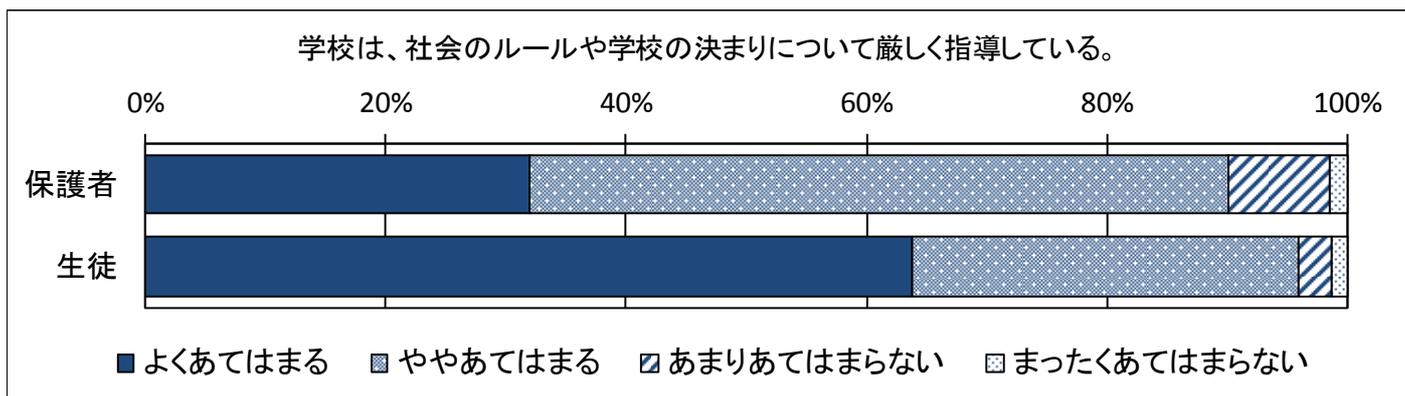
一方で、携帯・スマホによるSNSでのトラブルが原因で、悩みを抱える事例も数件ありました。しかしながら、本来、「携帯・スマホは持たせない」ことを確認しています。ここは保護者の責任になります。もちろん、情報モラルにかかる指導は行っています。特に、卒業する3年生には、IPA 情報処理推進機構より講師を招聘し、11月12日にインターネット教室を開催しました。将来は携帯・スマホを持つ生活になることは容易に想定できますので、義務教育が終わる段階で、必要なモラル教育は今後も継続して計画的に行います。



(4) 学校は、社会のルールや学校の決まりについて厳しく指導している。

保(ス) <3.2> **生(セ)** <3.6>

生徒指導上、誰もが安心して学校生活を送ることができるように、校則についても厳しく指導しています。その成果で落ち着いた校内の様子が維持できています。アンケート結果から、生徒自身も自覚している様子が見られます。今後も定期的な服装検査なども含め、指導を徹底してまいります。



(5) 交通ルールをきちんと守って通行している。

保(夕) <2.8> 生(チ) <2.7>

保護者、生徒とも低い評価でした。ほとんどの生徒が自転車通学をしていますが、朝夕の交通量の多い通学路を並進したり、斜め横断したり、徹底できない状況が続いています。今後も引き続き、指導していきますが、ぜひご家庭でも話題にしていただければと思います。

合わせて、車による送迎でも再度確認をお願いします。先にも書きましたが、今年度はPTA本部や委員会の皆さまに、案内の看板を制作・設置してもらったり、雨天時に西門に立ってもらったりご協力いただきました。おおむね周知いただいていると思いますが、地域・住民の方からの苦情が絶えません。南北の両方向から進入し、停車しているため通りにくくなっているのが原因です。歩道の縁石の高さが微妙に高く、ドアが開けにくいことも理解できますが、少なくとも道路の両側に停車することはご遠慮願いたいと思います。生徒にもそのように指導しています。

